

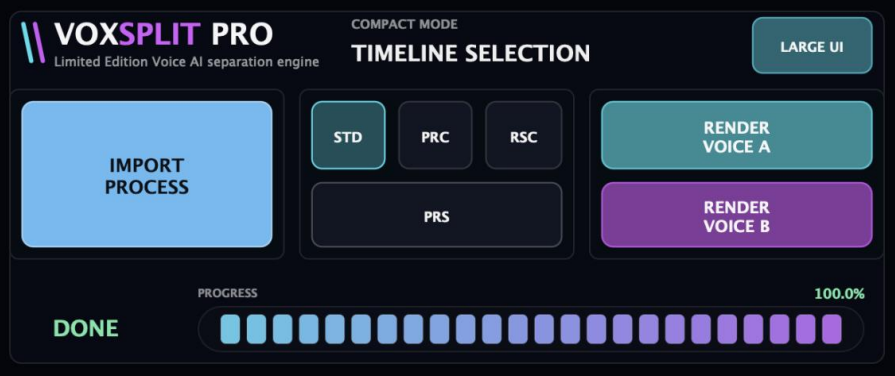
VOXSPLIT PRO

AI Voice Separation & Finishing Engine

バージョン 1.8.4 — ユーザーマニュアル

AAX AudioSuite · VST3 · Standalone · macOS

Limited Edition Audio <https://limitededitionaudio.com> · Copyright © 2026



ラージインターフェース・MINI モード

目次

1. 概要	3
2. 必要条件、バリエント、インストール	3
3. インターフェース – 概要	6
3b. コンパクトモード (MINI)	7
4. Pro Tools / AudioSuite ワークフロー	8
5. Standalone ワークフロー	10
6. 処理プロファイル	11
7. Presence とオーディオの仕上げ	12
8. 再生、書き出し、納品	12
9. 使用のヒント	14
10. トラブルシューティング	14
11. アップデート	16
12. 技術情報および法的情報	16
A. 付録 – エンドユーザー使用許諾契約	17

1. 概要

VoxSplit Pro は、オーディオソースから2つの異なる声を分離するために設計された、AIによる音声分離ツールです。macOS 上でクラウドへのアップロードなしにローカルで動作し、次の形式で使用できます：

- ▶ **AAX AudioSuite** — Pro Tools 内で、ポストプロダクションのワークフローに統合。
- ▶ **VST3** — 対応する VST3 ホストアプリケーション内で。Ableton Live は本リリースで検証済みのホストの一つです。
- ▶ **Standalone** — DAW なしで動作する単体アプリケーションとして。

オーディオ処理は Mac 上でローカルに行われます。分離やエクスポートのためにオーディオファイルがクラウドサービスに送信されることはありません。

■ **ワークフロー** ワークフローはシンプルです：ソースを読み込むかキャプチャし、処理プロファイルを選び、プロセスを実行し、Voice A / Voice B を聴き、結果を書き出すか納品します。

代表的な使用例

- ▶ **吹き替え／字幕制作** — ミックスから主音声を分離。
- ▶ **ダイアログのクリーンアップ** — BGM や不要な環境音の除去。
- ▶ **ナレーションの抽出** — ミックス済みマスターからの分離。
- ▶ **収録素材の救済** — 扱いにくい現場収録の救済。
- ▶ **ポッドキャスト／インタビュー** — 同一トラック上の2話者の分離。

■ **制限事項** VoxSplit Pro は主要な2つの声に最適化されています。3つ以上の声が同時に存在する場合、結果は保証されません。難しい箇所では複数のプロファイルを比較するか、より短い選択範囲を処理してください。

2. 必要条件、バリエーション、インストール

システム要件

システム	macOS — 下記のバリエーション表を参照
ストレージ	インストール中は最低 10 GB の空き容量を確保してください。作業ファイルを除き、インストール後の使用容量は約 3.3 GB です。
Pro Tools	Apple Silicon ネイティブ実行にはバージョン 2023.3 以降が必要です。Rosetta または Intel 環境では、お使いの macOS バージョンに公式対応するバージョンを使用してください。
VST3	VST3 対応のホストアプリケーション。本リリースでは Ableton Live が検証済みです。

ライセンス	iLok 無料アカウントと、ライセンスで許可された場所に応じて USB iLok またはコンピューターでアクティベートされたライセンスが必要です。
インターネット	コンポーネントをローカルにインストールした後、オーディオ処理自体には不要です。アクティベーション／ライセンス、ライセンス検証、体験版、アップデート確認には接続が必要な場合があります。

適切なバリエーションの選択

VoxSplit Pro は、マシン、macOS のバージョン、ホストアプリケーションのアーキテクチャに応じて複数のバリエーションで配布されています。Apple Silicon では特に、Pro Tools や DAW がネイティブで動作しているか、Rosetta 経由かを確認してください。

バリエーション	対象マシン	必要な macOS	アクセラレーション
Silicon	Apple Silicon + ネイティブホスト	macOS 14+	利用可能な場合は MPS、それ以外は CPU
Silicon Legacy	Apple Silicon + ネイティブホスト	macOS 12.7+ / 13.x	利用可能な場合は MPS、それ以外は CPU
Rosetta	Apple Silicon + Rosetta 上のホスト	macOS 12.7+	利用可能な場合は MPS、それ以外は CPU
Intel	Intel Mac	macOS 12.7+	CPU

△ 注意 ネイティブホストの Apple Silicon では、macOS 14 以降で Silicon を、macOS 12.7 または 13.x で Silicon Legacy を使用してください。Pro Tools や DAW が Rosetta で起動している場合は、Apple Silicon Mac であっても Rosetta バリエーションを使用してください。

MPS と CPU のアクセラレーション

Apple Silicon では、Silicon Legacy や Rosetta バリエーションを含め、利用可能な場合ワーカーは Apple Metal (MPS) アクセラレーションを試みます。MPS が利用できない、または失敗した場合は自動的に CPU にフォールバックします。Intel Mac は CPU を使用します。

MPS による処理は一般的に CPU 処理より高速です。実際に使用されているバックエンドは診断情報に表示されます。CPU へのフォールバックは必ずしも異常ではありません。

インストール手順

1. Pro Tools および開いている他の DAW を終了します。
2. 上の表で自分のバリエーションを確認します。
3. 該当する .pkg をダブルクリックします。
4. macOS が開くのをブロックする場合：システム設定 → プライバシーとセキュリティ → パッケージを許可します。
5. インストールアシスタントの指示に従い、管理者パスワードを入力します。
6. インストール後、Pro Tools または DAW を再起動します。

■ **注記** インストール中、「カスタマイズ」ボタンでインストールする形式（AAX、VST3、Standalone）を選択できます。選択した形式の動作に必要なため、Core コンポーネントは自動的にインストールされます。

アンインストール

VoxSplit Pro をアンインストールするには、/Applications/VoxSplit Pro Uninstaller.app を開き、指示に従ってください。このツールは、インストールされた形式、ローカルランタイム、関連するインストール記録を削除します。

macOS の権限

初回起動時、macOS は次の権限を要求する場合があります。両方とも許可してください：

- ▶ **プライバシーとセキュリティ → オートメーション** — AudioSuite ワークフローのために Pro Tools と AppleScript がシステムイベントと通信することを許可します。
- ▶ **プライバシーとセキュリティ → アクセシビリティ** — AudioSuite のキャプチャとレンダーに必要な Pro Tools インターフェースの制御を許可します。

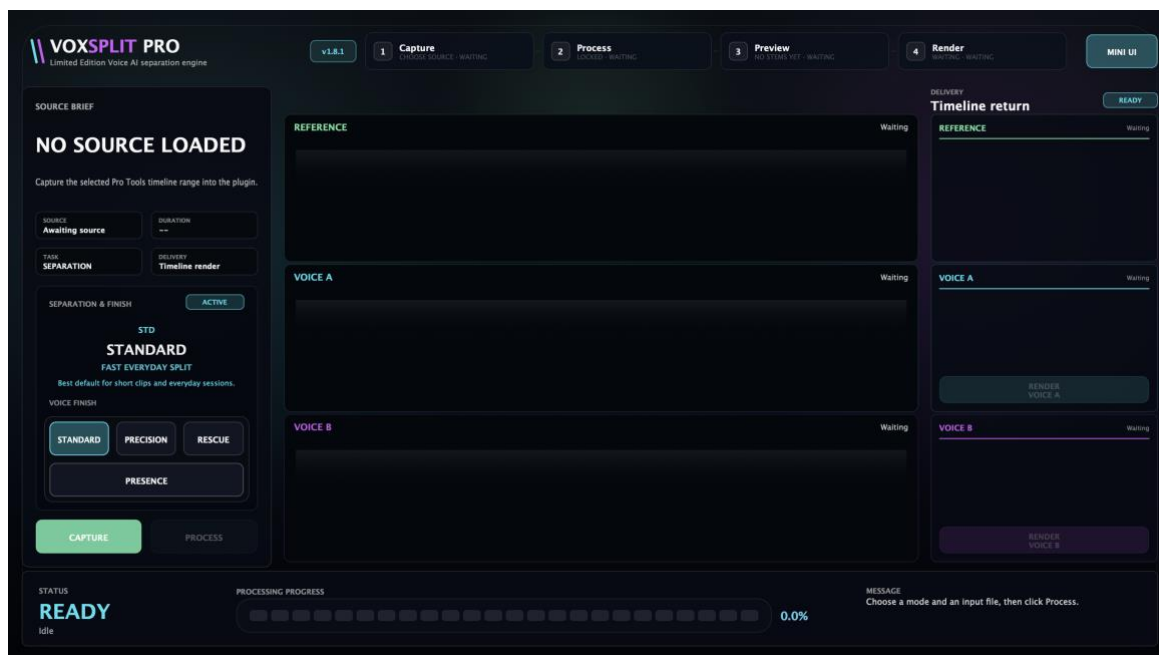
これらの権限は Pro Tools 内の AAX AudioSuite ワークフローに関するものです。通常、VST3 や Standalone のワークフローでは必要ありません。自動的に表示されない場合：システム設定 → プライバシーとセキュリティ → オートメーション／アクセシビリティ。

初回起動

■ **初回起動** インストール後の最初の処理は、エンジンがコンポーネントを初期化しモデルをメモリに読み込むため、時間がかかることがあります。以降の処理は明らかに高速になります。Apple Silicon では、最初のパスに MPS バックエンドの初期化が含まれることがあり、最初の処理がさらに長くなる場合があります。

3. インターフェース — 概要

インターフェースは主に4つのエリアで構成されています：



VoxSplit Pro インターフェース — ラージモード、初期状態

ソース／選択パネル（左）

- ▶ **Source、Duration、Task** — 読み込まれたソースの概要。
- ▶ **STANDARD / PRECISION / RESCUE** — 処理プロファイルの選択。
- ▶ **PRESENCE** — 音声の仕上げオプション（セクション7を参照）。
- ▶ **CAPTURE / RECAPTURE** — DAW からのキャプチャ、または再キャプチャを開始。
- ▶ **PROCESS / REPROCESS** — AI 処理を実行。

中央エリア — 波形

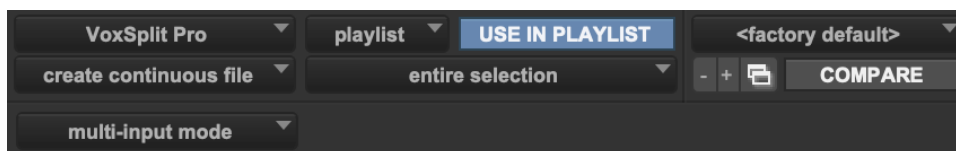
- ▶ **REFERENCE** — インポートされたソースの波形（緑）。
- ▶ **VOICE A** — 最初に分離された声の波形（シアン／ティール）。
- ▶ **VOICE B** — 2番目に分離された声の波形（紫）。

出力パネル（右）

- ▶ **SELECT** — プレビューするソースを指定。
- ▶ **RENDER VOICE A / RENDER VOICE B** — 選択した音声をレンダー（Pro Tools）またはエクスポート（Standalone）用にアーム。

進行状況バー

- ▶ **STATUS** — 全体の状態：READY、Processing...、DONE。
- ▶ **Processing Progress** — 処理中の 0% から 100% までの進行状況。
- ▶ **MINI UI / LARGE UI** — コンパクトインターフェースと完全なインターフェースを切り替え。

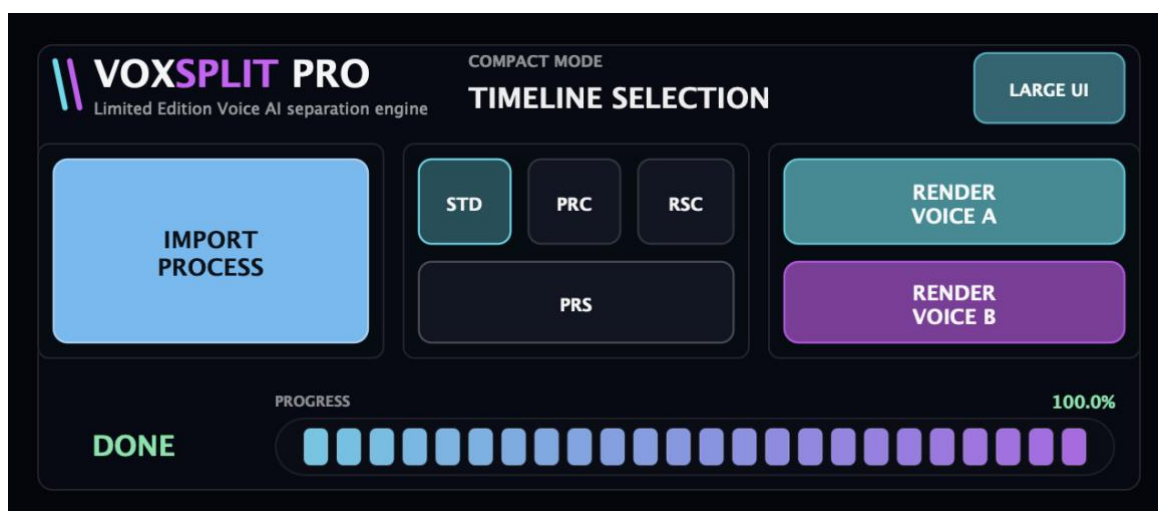


Pro Tools の AudioSuite 設定バー

△ 必須の **AudioSuite 設定** Pro Tools で Capture または Render を行う前に必ず確認：Create Continuous File = オン・Entire Selection = オン・Handles = 0。設定が誤っていると、空のレンダーやズレたレンダーになります。

3b. コンパクトモード (MINI)

右下の MINI UI / LARGE UI ボタンで、完全なインターフェースとコンパクトモードを切り替えます。この設定はセッション間で記憶されます。



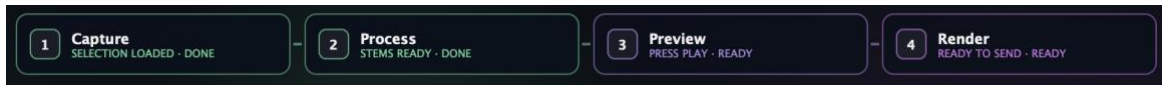
VoxSplit Pro インターフェースー コンパクトモード (MINI)

MINI モードでは波形は表示されません。プロファイル、Presence、process、preview、export などの主要機能は引き続き利用できます。このモードは小さな画面や作業が立て込んだセッション向けに設計されています。

STANDARD → STD	コンパクトモードではプロファイル名が短縮されます。
PRECISION → PRC	
RESCUE → RSC	

4. Pro Tools / AudioSuite ワークフロー

VoxSplit Pro は Pro Tools 内で AudioSuite モード（オフライン処理）で動作します。処理時間は、長さ、プロファイル、マシンによって数秒から数分かかることがあります。



ワークフローの4つのステップー Capture、Process、Preview、Render

ステップ1 — AudioSuite 設定を確認

開始する前に、Pro Tools の AudioSuite ウィンドウで確認してください：

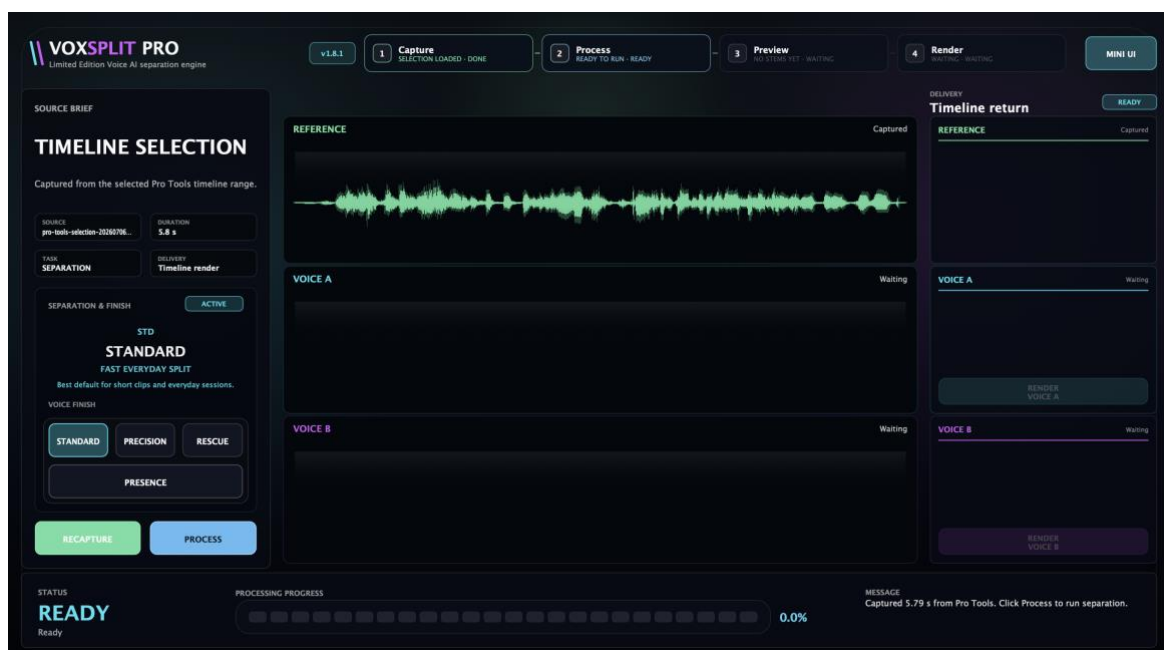
- ▶ **Create Continuous File** — AudioSuite バーの左側のメニューで選択。
- ▶ **Entire Selection** — 中央のメニューで選択。
- ▶ **Handles** — 0 に設定。

注記 これらの設定により、VoxSplit Pro が期待どおりの選択範囲を正確に受け取り、返すことが保証されます。設定が誤っていると、タイムライン上で空のレンダーやズレたレンダーになります。

ステップ2 — Capture

Capture は、Pro Tools のタイムライン上でアクティブなオーディオ選択範囲を読み取り、プラグインに読み込みます。

- ▶ Pro Tools のタイムラインで選択範囲を作成します。
- ▶ AudioSuite メニューから VoxSplit Pro を開きます。
- ▶ CAPTURE をクリックします。読み込みが終わるのを待つと、REFERENCE の波形が表示されます。



ソースがキャプチャされ、処理の準備が整った状態

⚠ **重要** CAPTURE をクリックする前に、Pro Tools 内で選択範囲がアクティブである必要があります。ソースが読み込まれない場合は、選択範囲を確認して再度クリックしてください。

ステップ3 — Process

AI 処理により、ソースは2つの異なる声に分離されます。

- ▶ プロファイルを選択：STANDARD、PRECISION、または RESCUE。
- ▶ 必要に応じて PRESENCE を有効化します。
- ▶ PROCESS をクリックします。完了するまで待つと、バーが 100% に達します。
- ▶ VOICE A と VOICE B の波形が表示されます。



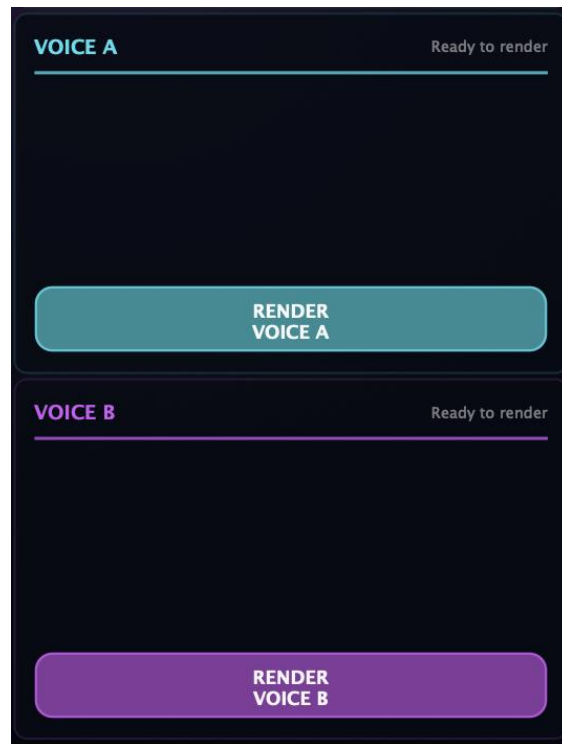
処理完了 — Voice A と Voice B が利用可能

ステップ4 — Preview

再生は Pro Tools の Preview システムを通じて行われます。VoxSplit Pro が再生するソースを選択し、実際の再生は Pro Tools が行います。

- ▶ REFERENCE、VOICE A、VOICE B の下にある SELECT をクリックします。
- ▶ Pro Tools の Preview ボタンを使って再生を開始します。
- ▶ 別の行で SELECT をクリックすることでソースを切り替えます。

ステップ5 — Render



出力パネルー RENDER VOICE A / RENDER VOICE B の準備完了

- ▶ VoxSplit Pro で RENDER VOICE A または RENDER VOICE B をクリックし、目的の出力をアームします。
- ▶ 最後にもう一度確認：Create Continuous File、Entire Selection、Handles = 0。
- ▶ Pro Tools の Render ボタン（プラグインではなく）をクリックして、ステムをタイムラインに書き込みます。

△ 注意 処理または納品が完了するまで、ソースの選択範囲を変更しないでください。処理中はセッションの変更を避けてください。

5. Standalone ワークフロー

VoxSplit Pro Standalone は、DAW なしで動作する単体アプリケーションです。オーディオファイルを読み込み、分離を実行し、結果を直接エクスポートできます。

1	2	3	4
Import	Process	Preview	Export
アプリにオーディオファイルを読み込み	プロファイルを選んで AI 分離を実行	Reference、Voice A、Voice B を再生	Voice A または Voice B を保存（WAV/AIFF/FLAC/MP3）

読み込みと処理

1. VoxSplit Pro Standalone を開きます。
2. IMPORT ボタン、またはドラッグ&ドロップでオーディオファイルを読み込みます。
3. プロファイルを選択：STANDARD、PRECISION、または RESCUE。
4. 必要に応じて PRESENCE を有効化します。

5. PROCESS をクリックし、処理が終わるのを待ちます。

再生とエクスポート

- 6. REFERENCE、VOICE A、VOICE B の下の SELECT をクリックして、再生するソースを選びます。
- 7. 内蔵プレーヤーで再生します。
- 8. Voice A または Voice B について SAVE / EXPORT をクリックします。
- 9. エクスポート形式を選択：WAV、AIFF、FLAC、または MP3。
- 10. 保存先フォルダーを選び、確定します。

📁 フォルダーの記憶 Standalone は最後に使用したエクスポート先フォルダーを記憶し、Voice A と Voice B を続けて保存しやすくします。

Standalone のエクスポート形式

WAV	非圧縮 — ポストプロダクションや編集に推奨。
AIFF	非圧縮 — Apple および Pro Tools と互換。
FLAC	ロスレス圧縮 — アーカイブに最適。
MP3	非可逆圧縮 — 配布や軽量なやり取りに。

📝 注記 MP3 エクスポートに必要なオーディオエンコーダーは、公式インストールパッケージに含まれています。追加のダウンロードは不要です。

6. 処理プロファイル

コンテンツの性質と複雑さに応じて選ぶ、3つの AI 推論プロファイル。

STANDARD 多くのファイルや会話で最初に試すことを推奨するモードです。	PRECISION 難しい箇所向けの分離方法。標準モードで声が混ざる、または入れ替わる場合に試してください。	RESCUE 短く難しい箇所向けです。問題のある範囲を選び、処理結果を聴き比べてください。
--	--	---

推奨される戦略

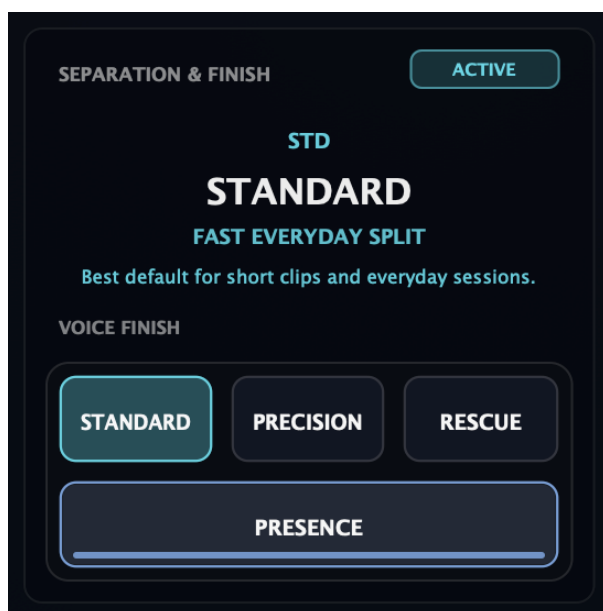
まず STANDARD から始めてください。結果の安定性が不足する場合は PRECISION を試してください。それでも難しい場合は、短めまたは中程度の選択範囲で RESCUE をテストしてください。

- ▶ **ダイアログ+音楽やノイズ** — ほとんどの場合 STANDARD で十分です。
- ▶ **声が重なっている** — より安定させるために PRECISION を試してください。
- ▶ **非常に密度が高い、または難しい箇所** — 短い選択範囲で RESCUE をテストしてください。
- ▶ **長いファイル** — 難しい箇所をいくつかの短い選択範囲に分けて処理してください。

⚠ **注意** RESCUE が常に STANDARD や PRECISION より優れているとは限りません。箇所によっては STANDARD が最良の選択のままである場合があります。試聴して結果を比較してください。

7. Presence とオーディオの仕上げ

PRESENCE は音声の仕上げオプションです。主分離の後、高域により多くの存在感とディテールを加えます。



Separation & Finishing パネルで PRESENCE を有効化

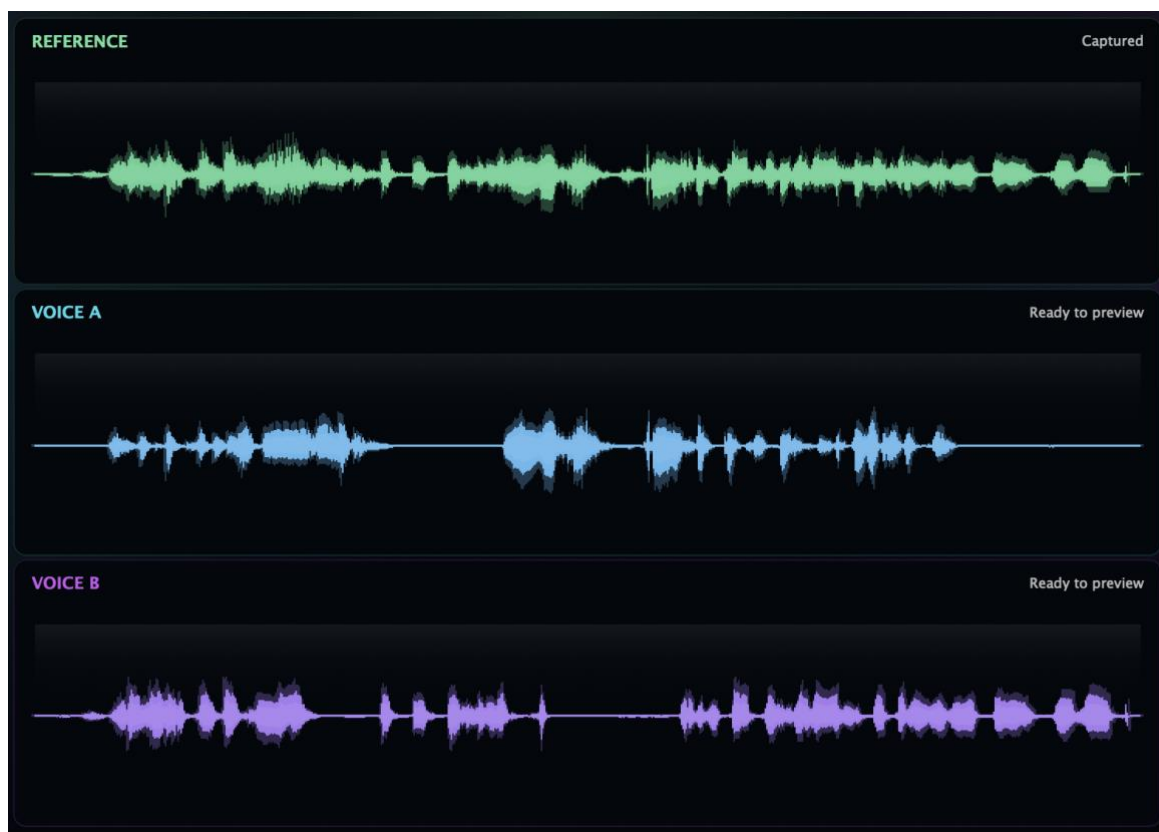
有効にするタイミング

- ▶ **PRESENCE オフ** — できるだけ自然な結果を求める場合、または複雑なミックスの中で声をさらに加工する場合。
- ▶ **PRESENCE オン** — 声をより聞き取りやすく、近く、ディテール豊かにしたい場合。ポッドキャスト、インタビュー、吹き替えに最適。

💡 **ヒント** PRESENCE は、声をミックスの中でより際立たせたいときに、より存在感がありディテール豊かな仕上げを加えます。納品前に PRESENCE のオン・オフ両方で結果を試聴してください。

8. 再生、書き出し、納品

書き出しや納品の前に、SELECT + Preview を使って REFERENCE、VOICE A、VOICE B を比較してください。使用する形式に応じて、VoxSplit Pro はホストのワークフロー内で結果を納品するか、オーディオファイルとしてエクスポートできます。



Reference、Voice A、Voice B — Preview と納品の準備完了

SELECT — プレビューするソースの選択

REFERENCE、VOICE A、VOICE B の下の SELECT をクリックしてアクティブなソースを指定します。その後の再生は、DAW の Preview または Standalone の内蔵プレーヤーを通じて行われます。

AAX AudioSuite (Pro Tools) の場合

RENDER VOICE A または RENDER VOICE B をアームし、Pro Tools で Render を実行してステムをタイムラインに書き込みます。確定前にトラックまたは書き込み先を確認してください。

Standalone の場合

SAVE / EXPORT をクリックして Voice A または Voice B をエクスポートします。利用可能な形式：WAV、AIFF、FLAC、MP3。最後のエクスポート先フォルダーは記憶されます。

VST3 の場合

納品時の動作はホスト DAW によって異なります。使用している DAW 固有のレンダーワークフローに従ってください。一部の DAW では、VoxSplit Pro VST3 はホスト固有のインポート／エクスポート、またはオフラインレンダーのワークフローとともに使用されます。たとえば Ableton Live では、場合に応じて Standalone またはホストのインポート／エクスポートワークフローを使用してください。

■ ヒント 納品前に SELECT + Preview を使って REFERENCE、VOICE A、VOICE B をすばやく比較してください。Voice A が望む声でない場合は、Voice B を試してください。

9. 使用のヒント

ベストプラクティス

- ▶ キャプチャする前に、タイムライン上の選択範囲を確認してください。誤った選択範囲は予期しない結果につながります。
- ▶ PRECISION や RESCUE に進む前に、常に STANDARD から始めてください。
- ▶ 納品前に SELECT + Preview で結果を確認してください。
- ▶ AudioSuite の設定は Create Continuous File、Entire Selection、Handles = 0 に保ってください。

結果を改善するために

- ▶ **ダイアログ＋音楽** — ほとんどの場合 STANDARD で十分です。
- ▶ **2つの声が重なる場合** — より安定させるために PRECISION を試してください。
- ▶ **非常に密度の高いオーディオ** — 短めまたは中程度の選択範囲で RESCUE をテストしてください。
- ▶ **非常に短い声（2秒未満）** — 結果にばらつきが出ることがあります。別のプロファイルを試してください。
- ▶ **複雑なステレオソース** — ソースによってはアーティファクトが生じることがあります。別のプロファイルを試すか、より短い選択範囲を処理してください。

Voice A と Voice B が入れ替わっているように見える場合

一部の複雑な箇所では、プロファイルによって2つの声の割り当てが異なることがあります。STANDARD、PRECISION、RESCUE を試聴して比較してください。場合によっては PRECISION や RESCUE の方が良い結果になることがあります。

難しい箇所について

より短い選択範囲を試してください。区間ごとに処理すると、うまく分離できる場合があります。長いファイルでは、難しい箇所をいくつかの選択範囲に分けて処理してください。

■ 制限事項 VoxSplit Pro は主要な2つの声に最適化されています。3つ以上の声が同時に存在する場合、結果は保証されません。難しい箇所では複数のプロファイルを比較するか、より短い選択範囲を処理してください。

10. トラブルシューティング

プラグインが DAW に表示されない

- ▶ インストールが正常に完了し、DAW が再起動されていることを確認してください。
- ▶ 正しいバリエント（Silicon、Silicon Legacy、Rosetta、Intel）がインストールされているか確認してください。
- ▶ Pro Tools では、プラグインは AudioSuite の Noise Reduction カテゴリーに表示されます。

最初の処理が非常に遅い

- ▶ インストール後の最初の処理は、コンポーネントの初期化のため時間がかかることがあります。これは正常です。
- ▶ その後の処理でも遅さが続く場合は、インストールされているバリエントがお使いのマシンと macOS のバージョンに合っているか確認してください。

間違ったバリエントがインストールされている

- ▶ **Silicon** — Apple Silicon、macOS 14 以降。
- ▶ **Silicon Legacy** — Apple Silicon、macOS 12.7 以降 / 13.x。
- ▶ **Rosetta** — Rosetta で起動した Pro Tools を使用する Apple Silicon。
- ▶ **Intel** — Intel Mac。

CPU 処理が想定より遅い

Intel Mac では CPU 処理が正常です。Silicon Legacy や Rosetta を含む Apple Silicon では、利用可能な場合 MPS が試され、必要に応じてワーカーは自動的に CPU にフォールバックします。

CAPTURE 後にソースが読み込まれない

- ▶ Pro Tools のタイムラインで選択範囲がアクティブになっていることを確認してください。
- ▶ もう一度 CAPTURE をクリックしてください。より確実な分離のためには、可能であれば1秒以上の選択範囲を使用することが望ましく、より短い選択範囲も受け付けられますが、結果にばらつきが出ることがあります。
- ▶ AudioSuite の設定を確認してください：Create Continuous File、Entire Selection、Handles = 0。

Preview で音が出ない

- ▶ SELECT でソースが選択されていることを確認してください。
- ▶ SELECT をクリックした後、Pro Tools の Preview を開始してください。

レンダーがタイムラインに表示されない

- ▶ プラグインで RENDER VOICE A または RENDER VOICE B がアームされていることを確認してください。
- ▶ AudioSuite の設定を確認してください：Create Continuous File、Entire Selection、Handles = 0。
- ▶ プラグインではなく Pro Tools で Render をクリックしてください。

Standalone での MP3 エクスポートが失敗する

- ▶ 完全な公式パッケージでインストールされているか確認してください。オーディオエンコーダーはパッケージに含まれています。

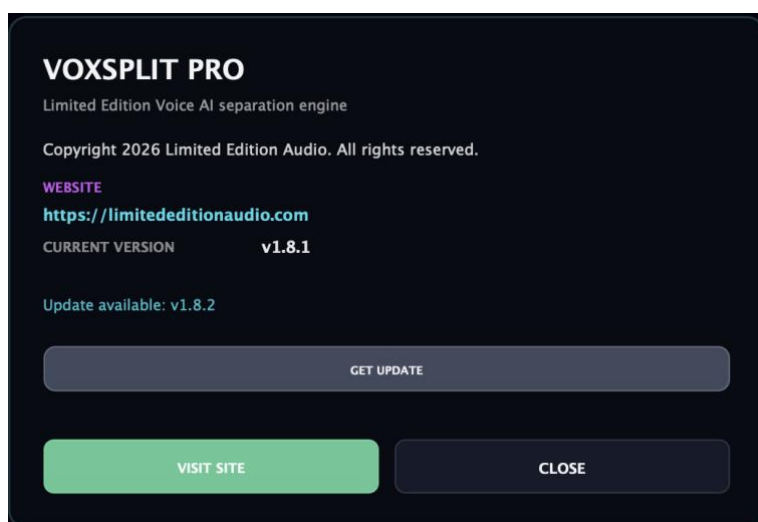
macOS がインストールをブロックする (Gatekeeper)

- ▶ 署名および公証済みの公式パッケージのみを使用してください。
- ▶ macOS がブロックする場合：システム設定 → プライバシーとセキュリティ → パッケージを許可してください。

アーティファクトや声の入れ替わりがある結果

- ▶ 別のプロファイルを試してください。
- ▶ 難しい箇所でもより短い選択範囲を試してください。
- ▶ 非常に複雑なコンテンツでは、現在の技術的限界に起因する一部のアーティファクトが避けられない場合があります。

11. アップデート



About ウィンドウ アップデートが利用可能

VoxSplit Pro はアップデートの有無を確認できます。インターフェースでバージョン表示またはアップデートボタンをクリックしてください。新しいバージョンが存在し、公式リンクが公開されている場合、ブラウザが Moonbase でホストされている VoxSplit Pro のダウンロードページを開きます。インストール済みのバージョンが最新の場合は、その旨のメッセージが表示されます。

注記 アップデートの確認に失敗した場合は、インターネット接続を確認し、後でもう一度お試しください。VoxSplit Pro が開く Moonbase のリンク、または Limited Edition Audio の公式サイトのみをご利用ください。

サポートへの連絡

サポートに連絡する際は、macOS のバージョン、マシン、DAW、インストールされているバリエーション、問題の簡単な説明をお知らせください。サポートレポートが利用可能な場合は、メッセージに添付してください。

公式サイト	https://limitededitionaudio.com
サポート	support@limitededitionaudio.com

12. 技術情報および法的情報

アーキテクチャ

AI エンジン	VoxSplit のローカル音声分離・仕上げエンジン — すべてお使いの Mac 上で実行されます。
処理	オフラインで、macOS 上でローカルに実行されます。オーディオデータがクラウドサービスに送信されることはありません。
対応形式	AAX AudioSuite ・ VST3 ・ Standalone
アクセラレーション	利用可能な場合、Apple Silicon で MPS を試行し、自動的に CPU へフォールバック ・ Intel Mac では CPU

発行元

VoxSplit Pro v1.8.4 ・ Limited Edition Audio ・ <https://limitededitionaudio.com>

Copyright © 2026 Limited Edition Audio — VoxSplit Pro. All rights reserved.

発行元	Frédéric Le Louët — Limited Edition Audio
住所	35 boulevard Saint-Michel, 91600 Savigny-sur-Orge — フランス
サポート	support@limitededitionaudio.com
サイト	https://limitededitionaudio.com

付録A — エンドユーザー使用許諾契約（EULA）

VoxSplit Pro の使用は、インストール時に表示され同意するエンドユーザー使用許諾契約（EULA）に従うものとします。この言語版のインストーラーでは契約書は英語で提示され、本マニュアルは参考情報として日本語で提供されています。

EULA では特に、iLok USB またはコンピューターによるアクティベーションを伴う1台のコンピューター向けの永続ライセンス、7日間の体験版、使用上の制限、サードパーティコンポーネント（FFmpeg を含む）、無保証、責任の制限、準拠法、消費者調停手続きについて定めています。本マニュアルと EULA との間に相違がある場合は、インストール時に同意した EULA が優先します。